

総務・拡大委員会 事業報告

委員長 巖 洋輔

昨年度、総務・拡大委員会は、個人、そして組織が最大限に力を発揮できるよう組織の土台として、LOM全体を全力で支援することを目指し、組織基盤の強化と質の向上に向けた事業並びに委員会運営を行いました。

まずは、浦安青年会議所としての最高意思決定機関である総会及び理事会の厳格な運営を行うため、適正かつ丁寧な設営を念頭に、準備と案内を行いました。総会においては出席率の前年度比向上を達成しましたが、設営の面では細かい誤りが発生する等の課題を残しました。しかしながら事業・例会のクオリティに繋がる議案の精度を上げるために行った審査会議では組織全体の事業構築を行うための一助を当委員会が担えたと考えます。そのような中、理事会、総会の審議事項については滞りなくすべて可決し、次年度以降へ繋げることが出来ました。

また、市民の事業への参加及び青年会議所への入会を検討する機会を提供するために、プレスリリースやSNSを活用し、SNSの賛同数の向上とメディアへの掲載機会の増加を達成しました。運動の発信を積極的かつ継続的に行うことは、必ず反応が生まれますので、運動発信及び組織の認知向上のために効果が出た手法を引き継いでいきたいと思えます。拡大については、検証した拡大手法と対象者データの収集・整理を共に行い、拡大オリエンテーションと積極的な対象者へのアプローチを運動させることにより、66名のオブザーバーを確保しましたが、入会が10名に止まり、拡大目標である20名には達せず、悔しい結果となりました。課題となったクロージングについてしっかりと検証し、手法の確立を目指せるよう引き継いで参ります。

さらに、魅力ある団体へと進化させるべく、個人の成長を促すために、JCプログラムであるVMVセミナーを開催したところ、次年度理事メンバー全員に参加して頂いたことは嬉しい結果でしたが、入会間もないメンバーの参加数が低かったため、今後も継続した成長の機会を提供し、組織基盤の強化に繋げていきたいと思えます。

以上のように一年間を通じ、組織の運営や各委員会のサポートを通して、浦安青年会議所が行う運動の土台となるべく全力を尽くしたつもりです。その気持ちこそが、気概溢れる人財による魅力ある浦安アイデンティティの創造に繋がると確信しております。

全体の運動並びに総務・拡大委員会の事業にご協力頂いたメンバーの皆様と、委員会の担いを達成してくれた委員会メンバーのおかげで、組織運営を最後まで滞りなく進めることができました。この場をお借りして熱く御礼を申し上げます。一年間、本当にお世話になりました。